

平成24年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市藤棚地域ケアプラザ

2 事業報告

地域の現状と課題について

- ・ 藤棚商店街の周辺に古くからの住宅地が密集しており、急傾斜の坂道と狭小な道路が多くあります。地域によっては緊急車両の通行が困難な地域も混在しています。高齢化率は25.3%と西区では高い方です。自治会によっては28%を超えている町内会もあります。また、6歳未満の子供の数は少なくなっており、町内によっては子供会がない地域もあります。
- ・ 地域の課題としては自治会の役員の高齢化が顕著で、後継者探しに苦労されている自治会もあります。
- ・ エリアには9つの福祉施設があり、連携をしながら業務を進めていきました。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- ・ 建物・空調設備、消防設備等の保守点検を定期的に行い、また日常清掃や消耗品の補充等における日常の管理を通して、ご利用者が安心して、また安全にご利用いただけるよう努めました。
- ・ 地域ケアプラザの施設は様々な方が利用されるので、感染症予防のために、毎日トイレ・手摺・ドアノブ等の殺菌消毒を行いました。

イ 効率的な運営への取組について

- ・ 地域ケアプラザの労務、経理などの事務処理に関して、法人本部と連携して、業務や役割の分担を図りながら事務の効率化に努めました。また送迎車輛リース等の委託業務の選定にあたっては電子入札を実施し経費削減を図りました。
- ・ 不要な電気をこまめに消したり、空調を適正温度に設定するなど無駄を省くように努めました。
- ・ 建物管理や保守に関しては、藤棚地区センターとの複合施設のため共同委託することで、効率よく施設管理を行いました。

ウ 苦情受付体制について

- ・ 法人で苦情解決規則を定めており、それに基づき地域ケアプラザにおいても苦情受付担当者、苦情解決責任者を設置して、ご利用者からのご意見、ご要望、また苦情等に対応しました。
- ・ 法人では公正・中立の立場からあつせん、調整を行う第三者委員会を設置し、適切な苦情解決に向けての体制を整備し、取り組みを行っています。
- ・ ケアプラザでは「なんでもご意見箱」と法人のお客様相談室宛の専用ハガキ「お聞かせください」を設置し、気軽に意見がいただけるよう工夫しました。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・年に2回デイサービスのご利用者や貸室ご利用者を含めた避難、消火訓練を行い緊急時に落ち着いた行動がとれるよう訓練を行いました。その内1回は藤棚地区センター・藤棚ハイツと合同防災訓練を行いました。
- ・地域ケアプラザは区役所と特別避難場所の協定を結んでいますので、災害時は要援護者の避難場所に指定されます。

オ 事故防止への取組について

介護サービスの提供中にヒヤリとしたり、ハッとしたことなどを朝夕のミーティングの場において報告し、職場内で注意を喚起しながら事故の防止に努めました
また所内での会議などにおいても他の事業所での事故の事例や事故防止マニュアルを活用するなど、事故防止に関する研修を組み入れ、職場における危機管理の意識を高めました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- ・法人では個人情報保護規程を定め、それぞれのケアプラザでは個人情報の管理に関する担当者、責任者を定めています。また法人本部で実施される個人情報保護、情報セキュリティ研修を職員に受講させ、所内でも個人情報保護研修を行い啓発に努めました。
- ・実際の個人情報の取り扱いとして、契約書、記録類、また USB メモリなどは施錠できるロッカーなどで保管することとし、携帯がどうしても必要な場合には、紛失や情報漏えいのないよう最小限の情報のみを携帯するようにしました。
- ・書類の封入時のダブルチェックやファックスで送る場合のマスキング、短縮ダイヤルの設定、ダブルチェックなどを徹底するよう職員に周知徹底を図っています。
- ・デイサービスのご利用者の記録書等の取扱いについては、誤返却防止のために、看護職員、生活相談員、介護スタッフで3段階チェックを行いました。

キ 情報公開への取組について

- ・地域ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、法人で定めた情報公開規程にのっとり、積極的に情報を公開する体制を整えました。
- ・ホームページを活用して各種事業に関する情報などを幅広く市民の方に提供しました。

ク 環境等への配慮及び取組について

- ・省エネルギー対策、ゴミの減量化など良好な環境の維持のために、節電、節水をこまめに行い、コピー用紙の裏面使用を励行しました。横浜市「ごみゼロルート回収」に従い、資源ゴミの分別収集を行いました。
- ・電力消費がピークとなる夏季には「適正冷房・軽装勤務」の実行、不要な照明の消灯、使用していない事務用機器の電源を落とすなど、地球温暖化防止にも心がけました。
- ・2ヶ月に1回、空気環境測定を行い、室内環境の適正な維持に努めました。外交の環境整備については、地域作業所の活動の場として清掃作業を委託しました。また、低木の剪定についてはボランティアに依頼して行いました。

介護保険事業

● 介護予防支援事業

《職員体制》

地域包括支援センターの3職種と非常勤の介護支援専門員2名で、介護予防支援のケアプランが適正にご利用いただけるよう最善を尽くしました。

《目標》

介護予防支援計画の作成にあたっては、ご利用者の意志及び人格を尊重し、自立に向けて設定された目標を達成するために、ご利用者及びそのご家族の主体的な参加と合法的サービス提供の調整に努めました。可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう努めました。

事業の運営に当たっては公正中立な立場で、多様で総合的なサービス調整に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- ご利用者から利用者負担金を徴収した事例はありませんでした。
- ご利用者宅にお伺いした交通費を徴収した事例はありませんでした。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

・居宅介護支援事業所に介護予防業務を委託する場合は、ご利用者の選択を十分に尊重した上で、従来からケアプランを作成していたケアマネジャー、都道府県の指定を受けた居宅介護支援事業所に依頼しました。

・ご利用者が在宅生活を継続できることを目標に、やる気を引き出す支援に取り組みました。

・介護保険の更新申請相談を受けた場合は、更新の必要性のアセスメントを行い、必要に応じて、更新は見合わせることに了承いただき、訪問型や介護予防ケアマネジメントに繋げました。

《利用者目標》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
118	114	119	118	115	114
10月	11月	12月	1月	2月	3月
115	110	109	107	115	115

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤兼務） 管理者は業務の管理を一元的に行います。
 ケアマネジャー 2名（常勤専従）
 1名（常勤兼務）
 2名（非常勤兼務）

《目標》

- 適正な保健医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるように、公正中立な立場に立ち、居宅サービス計画を作成するとともに、サービス事業所等の連絡調整を行いました。
- 事業の実施にあたっては、関係行政機関、地域の保健・医療・福祉サービス事業者、ボランティア団体等との綿密な連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。
- 居宅サービス計画の作成にあたっては、利用者の心身の状況、その置かれている環境等に応じて、利用者が自立した日常生活を営むことができることを目標としました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- お客様から頂く負担金は、償還払いの場合を除き無料です。
- 通常のサービス提供地域をこえる地域に訪問、出張する必要がある場合には、以下の実費をいただきます。
 - ① 公共交通機関を利用の場合、公共交通機関の運賃分
 - ② 自動車を利用した場合、プラザより片道6.5km未満は無料とし、6.5km以上は10kmごとに160円
- 介護保険料を一定期間滞納した場合は、一旦サービス利用料金の全額をお支払いいただかなければなりませんのでご注意ください。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域ケアプラザは福祉・保健の活動拠点として、町内会、自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、ボランティア団体など、地域の様々な団体が日頃から地域ケアプラザを利用してもらえるように努めました。また、地域の身近な相談窓口として、誰もが気軽に立ち寄れて、相談できるケアプラザであるよう務めています。

《利用者目標》

【単位：人】

4	5月	6月	7月	8月	9月
92	87	88	88	87	90
10月	11月	12月	1月	2月	3月
90	90	90	94	92	90

● 通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ご利用者が自立した日常生活を営むこと、及びご利用者の家族の負担軽減を目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、身体状況に応じて、入浴・排泄・食事等の介護と口腔機能向上・運動器機能向上訓練を行いました。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました。

《実費負担（徴収した場合は項目ごとに記載）》

- 1割負担分（1回あたりの金額） 基本額（大規模型通所介護（Ⅰ））

（要介護1）	695	円
（要介護2）	811	円
（要介護3）	926	円
（要介護4）	1,041	円
（要介護5）	1,156	円
● 食費負担	650	円
● 個別機能訓練	54	円
● サービス体制強化加算（Ⅱ）	7	円
● 入浴介助	53	円
● 口腔機能向上加算	159	円
● キャンセル料	450	円

（前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費450円を頂きました。）

《事業実施日数》 週7日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》

管理者	・・・	常勤兼務	1名
生活相談員	・・・	常勤兼務	3名
看護職員	・・・	非常勤兼務	6名
介護職員	・・・	常勤兼務	3名
		非常勤専任	24名
機能訓練指導員	・・・	非常勤兼務	6名
調理員	・・・	非常勤専任	6名
運転手	・・・	非常勤専任	5名
事務員	・・・	常勤兼務	1名
		非常勤専従	1名

《目標》

- ・ お客様が自立した日常生活を営むことを目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて通所介護サービスを提供しました。
- ・ 通所介護計画書の作成にあたっては、個別ニーズを把握しご利用者の意思を尊重し、心身状況、環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営む事ができることを目標としました。
- ・ 従業員の資質向上を図るための研修を定期的に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ご本人やご家族が見学を希望される場合には随時対応しました。実際に見ていただいて不安を解消した上でご利用につながるようにお声掛けをしていきました。
- ・厨房で調理した温かくおいしい家庭料理を毎回提供し、季節感のあるメニューをお楽しみいただきました。
- ・おやつはお客様と一緒に作ったり、日本各地から銘菓を取り寄せたりと趣向を凝らして楽しんでいただきました。
- ・今年度は時間が長くなったので、お客様とスタッフ間の会話の時間をより多く取り入れ、お互いのコミュニケーションを図るよう努めました。また、レクレーションのメニューを充実させて、ご自身の希望を取り入れ、選択していただくことで楽しみながら自立した生活が継続できるよう目標を設定して実施しました。

《利用者目標（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
826	841	848	882	871	838
10月	11月	12月	1月	2月	3月
886	847	741	743	762	822

● 介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

- ご利用者が自立した日常生活を営むこと、及びご利用者の家族の負担軽減を目標に、ご利用者の心身の特性を踏まえ、身体の状態に応じて、入浴・排泄・食事等の介護と口腔機能向上・運動器機能向上訓練を行いました。
- 事業の実施にあたり、関係行政機関・地域の保健・医療・福祉サービス・ボランティア団体等との連携を図り、総合的なサービス提供の調整に努めました

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
 (要支援1) 2,327 円 (要支援2) 4,549 円
 - 運動器機能向上加算 238 円 ●口腔機能向上加算 159 円
 - 生活機能向上加算 106 円 ●食費負担 650 円
 - キャンセル料 450 円
- (前日の営業時間終了までにご連絡がない場合、食材料費450円を頂きました。)

《事業実施日数》 週 7 日

《提供時間》 9:45 ~ 16:50

《職員体制》

- 管理者 . . . 常勤兼務 1名
- 生活相談員 . . . 常勤兼務 3名
- 看護職員 . . . 非常勤兼務 6名
- 介護職員 . . . 常勤兼務 3名、非常勤兼務 24名
- 機能訓練指導員 . . . 非常勤兼務 6名
- 調理員 . . . 非常勤専任 6名
- 運転手 . . . 非常勤専任 5名
- 事務員 . . . 常勤兼務 1名、非常勤専従 1名

《目標》

- ・お客様が自立した日常生活を営むことを目標にご利用者の心身の特性を踏まえ、その有する能力に応じて介護予防通所介護サービスを提供しました。
- ・通所介護計画書の作成にあたっては、個別ニーズを把握しご利用者の意思を尊重し、心身状況、環境等に応じて、お客様が自立した日常生活を営む事ができることを目標としました。
- ・従業員の資質向上を図るための研修を定期的に行いました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・ご本人やご家族が見学を希望される場合には随時対応しました。実際に見ていただいて不安を解消した上でご利用につながるようにお声掛けをしていきました。
- ・厨房で調理した温かくおいしい家庭料理を毎回提供し、季節感のあるメニューをお楽しみいただきました。
- ・おやつはお客様と一緒に作ったり、日本各地から銘菓を取り寄せたりと趣向を凝らして楽しんでいただきました。
- ・今年度は時間が長くなったので、お客様とスタッフ間の会話の時間をより多く取り入れ、お互いのコミュニケーションを図るよう努めました。また、レクレーションのメニューを充実させて、ご自身の希望を取り入れ、選択していただくことで楽しみながら自立した生活が継続できるよう目標を設定して実施しました。

《利用者目標（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
24	24	25	25	25	24
10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	23	22	23	22	22

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

・相談については平日と土曜日は午前9時から午後9時まで、日曜日・祝日については午後5時まで、職員が必ず在席して電話や窓口でのご相談をお受けできるように職員体制を整えました。ご相談の内容により、関係機関と連絡を取りながら迅速に対応しました。

・相談事例から認知症に対する理解と対応や、悪質商法に遭わないための情報発信や介護予防が必要と考え、町内会や老人会への出前講座で啓発活動を行いました。

・子育て支援では、遊びの杜保育園との共催で「ピーナッツクラブ」を14回開催し、0歳～1歳の子育て中のお母さんに、育児に関する様々な悩みや心配ごととの相談に応じました。専門的な相談に関しては遊びの杜の保母さんに対応していただきました。

・障がい児への支援では、障がい児が地域での交流や活動が少ない現状があるため、放課後支援「とんぼ」（中学生を対象）を15回行い外出も行いました。中学生の障がい児の余暇支援については、西区社会福祉協議会やガッツビーと西と共催で余暇支援事業を行いました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

・地域活動交流事業のコーディネーターと地域包括支援センターの三職種は地域の会合や食事会に出向くほか、事業を協力し合いながら実施しました。民生委員・児童委員協議会の勉強会や障害者施設との各会議やイベント、その他各町内会館への出前講座など全員で協力して対応しました。

・地域や関係機関からの情報はこまめに情報交換を行い、情報が共有できるように努めました。

・地域で元気に活動されていた方や自主事業に参加されていた方が高齢化や体力低下の理由で状況が変化した場合は、コーディネーターが包括職員に繋ぎ、介護保険サービス等を案内していく流れが日常的にできています。

・反対に介護保険サービスの利用者にも見守りの配食サービスや自主事業等のインフォーマルサービスの利用も案内しています。

3 職員体制・育成

・職員は1年間を通して変動はなく、地域の方からは顔と名前を覚えていただいて、信頼を得ています。町内会長や民生委員からは個別の相談が多く寄せられ同行訪問しました。

・法人内で年間研修計画を作成し、職員は可能な限り研修に参加しています。また、法人内で職種ごとの担当者会議を定期的で開催し、各ケアプラザで実施している事業の紹介や課題などの情報交換を行い、担当者専門性や資質の向上を図れるよう切磋琢磨しています。

・研修受講後には研修報告書を作成し、所内での回覧を行って、情報共有を行いました。

・各専門性を生かし、他の施設から依頼を受けた「介護保険制度について」や「成年後見制度」等の講演を行いました。

4 地域福祉のネットワーク構築

- ・地域ケアプラザは地域の福祉保健活動団体と連携するために連合町内会・民児協・地区社協・自立支援協議会・第3地区懇談会の定期的な会合や行事に参加し(32回)、日常的に情報交換を行いながら、地域のニーズや課題を把握しながら事業を行いました。
- ・藤棚ネットワーク(支え合い勉強会)において地域のどなたでも参加できるネットワークの基盤作りと顔の見える関係作りを行いました。(2回)【防災・減災について】2月に「避難所体験のシュミレーション」を行いました。
- ・エリア内にある福祉施設8か所や西区社会福祉協議会・自立支援学校・横浜市総合医療センター・こころの健康相談センター・福祉関係機関等が参加している西区地域自立支援協議会や各部会に参加し、よりよいネットワークづくりを行いました。(合計10回)また、部会では日常的な連携会議を定期的実施し、福祉フェスタの開催を行いました。
- ・エリア内のグループホームや小規模多機能の推進会議に出席し、地域密着型サービスとケアプラザの役割の周知やネットワークの構築を行いました。(合計11回)

5 区行政との協働

- 西区地域福祉保健計画「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の地区別懇談会では地区支援チームとして懇談会メンバーと一緒に活動を行ってきました。
- ・地区別計画や懇談会の活動について地域に広報活動を行うために、福祉フェスタに参加し、くじ等を委員と行いました。また、広報誌「にこまち3」第3、4号を発行しました。
 - ・西区地域福祉保健計画「にこやか しあわせ 暮らしのまちプラン」の6つの大目標に沿った事業をそれぞれ年度当初の計画通りに実施できました。
 - ・今年度は、H25年5月に開催される「地域のお祭り」に向けて支援チームを立ち上げ連携して開催する予定です。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

地域に正しい情報を発信するために

- ・広報誌(年4回)
- ・ホームページ月1回更新
- ・担当地域のアセスメントシート年1回更新
- ・地域関係者等の取組状況表の作成
- ・地域の自治町内会や民生委員・児童委員協議会・老人会やふれあい会(1人暮らし高齢者見守り事業)、ボランティアグループの食事会、配食のボランティアグループ等の会合に出ささせていただいて、情報収集及び情報の発信を行いました。
- ・市民利用施設との連携により、施設の利用状況を窓口で閲覧できるようにしています。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・毎月貸室の予約を月初めに行いますが、できるだけ団体間で話し合い、不公平感が生まれないように調整しています。
 - ・貸室登録団体に地域の誰でもが参加できる活動をしていただけるよう依頼して利用希望者を案内しました。
 - ・貸室団体にはボランティア活動を呼びかけ、活動の調整を行いました。
 - ・地域の皆様が施設を気持ち良く利用するために、アンケートを実施してご意見を伺いました。
- また、受付に「ご意見ご要望受付箱」を設置して、常時ご意見やご要望を受け付けて、活動しやすい場の提供に努めました。
- ・今年度の来館者は、16,687名となっております。
 - ・団体間の連携が図れるよう「交流会」を開催して、情報交換を行い、団体間のネットワークを構築しそれぞれの活動が活発に広がるよう努めています。
 - ・地区センターと協働で行ったケアプラザ祭（15周年）では地域団体や福祉施設にブースを出して盛り上げていただきました。

3 自主企画事業

【高齢者見守り事業】

- ・配食サービス「みつわの会」 18回

【高齢者の居場所作り仲間作り】

- ・みんなで唄おう 9回

【地域の方から要望のあった趣味活動】

- ・クリスマスオーナメント 1回

- ・一の会（書道） 9回

- ・そろばんばちばち 10回

【体操教室とウォーキング】

- ・はつらつクラブ 18回

- ・さわやか体操クラブ 18回

【認知症高齢者と保育園児との交流】

- ・くるみ 12回

【子育て支援】

- ・ピーナツクラブ 11回

【子ども向け】

- ・子ども絵手紙教室 6回

【障害児支援】

- ・とんぼ 16回

【情報が正確に伝わる町を目指して】

- ・e ネットにし探検隊のパソコン指導 37回

【異世代交流、居場所作り】

- ・実（みのり） 9回

○今年度10月から浜松町公園において地域住民を対象に「ラジオ体操 第1・第2」を週1回始めました。

○これまでに立ち上がっている自主グループの継続的な活動についても支援を行っています。

○地区センターと合同による「15周年記念祭」を5月に開催し、約1,600人のご参加を得ました。

○1月より障がい者施設「ガッツぴーと」と協働による絵手紙教室を開催しました。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

- ・通所介護事業へのボランティアの受け入れは個人では年間 560 名なっています。ほとんどの方がヨコハマいきいきポイントに登録されています。また、デイサービスの演芸や団体でのボランティアは 289 名、そして自主事業のボランティアも含めると年間で 1,694 名のボランティアの方に活動していただきました。
- ・今年度も地域からの要望でボランティアの調整、派遣を行いました。
- ・ボランティア個人と団体の感謝祭は 3 月に実施しました。団体間の顔の見える関係づくりや活動の広がりが図れるように働き掛けを行いました。
- ・小学生のボランティア活動としてガールスカウトの受け入れを通所介護事業で行いました。また、近隣の小中学校の生徒達が通所介護事業にボランティア体験に来てくれました。
- ・あそびの杜保育園の子供たちが高齢者との交流に訪れてくれるなど、活動の場を提供しました。

地域包括支援センター

1 総合相談

総合相談支援（総合相談）

- ・3 月末における相談件数は 1,388 件、内訳は新規 160 件、継続 1,228 件でした。ご相談に応じて区役所や関係機関と同行訪問し迅速に対応しました。訪問件数は 291 件、内訳は新規 89 件、継続 202 件でした。
- 相談の内容については介護保険制度を中心に、介護、医療、認知症に関する項目が増えています。また、単身高齢者に関わる相談や相続・遺言の相談も増加傾向にあります。

総合相談（実態把握）

- ・包括支援センター職員は、自治会町内会や民生委員・児童委員協議会の会合、老人会、地域の行事などの機会や、出前講座を通じて地域の方々から情報収集をさせていただきました。その中から地域の課題や個別ケースのニーズなど課題を抽出して、地域の状況を把握するよう努めました。その情報を区役所などの関係機関と共有しながら、問題解決に向けた取組を行いました。

2 権利擁護

権利擁護（権利擁護）

- ・区役所主催の「高齢者権利擁護サポートネット」に参加し、弁護士、司法書士、医師等の専門家のアドバイスを受け、知識や技術を向上させると共に、専門機関と連携できる体制作りを行いました（3 回）。
- ・地域の相談ケースの中には、相続・遺言に関する相談も多く、サポートネットで協力いただいている司法書士の方や関係機関の協力を得て、支援を行いました。
- ・事業については「遺言書の書き方講座」を開催。共催事業としては「人生これから講座」を区役所、4 包括社会福祉士、西区社会福祉協議会などが参加し実施いたしました。

権利擁護（高齢者虐待）

- ・ケアマネジャーやサービス事業者からの虐待事例の相談については、区との定例カンファレンスや臨時のカンファレンスを開催して情報共有を行い、連携を図りながら役割分担をして対象者や介護者の支援を行いました。
- ・共催事業としては、民生委員の全体研修会に4包括社会福祉士、区役所、西区社会福祉協議会が参加し、高齢者虐待の予防啓発講座を実施しました。
- ・区役所主催の「西区虐待防止事業連絡会」に参加し高齢者虐待の早期発見、予防を行うためのネットワーク作りに参加しました。

権利擁護（認知症）

- ・認知症の正しい理解の促進のために、「認知症サポーター養成講座」町内会等で行いました。（3回）
- ・区役所主催の「徘徊認知症高齢者保護地域支援事業連絡会」に参加し関係団体と情報共有しながら更なるネットワーク構築に努めました。藤棚エリアにおける登録者は昨年度より2名増えて、5名となっております。
- ・西区の介護者支援団体である「西区在宅介護者の集い あげぼの会」との交流については今年度も2回開催いたしました。
- ・あげぼの会の協力で実施している「男性介護者の集い」については3回実施し、参加者は延べ15名となっております。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

- ・町内会や老人会、ひとり暮らし高齢者食事会、趣味の教室などに出向き、チェックリストを行いました。該当者には全員連絡をとり、体力向上プログラムにつながるよう説明しました。また、参加への連絡も密に行いました。
- ・閉じこもり傾向や身体状況により事業への参加が困難な方には、区とも連携を図りながら訪問型事業につなげ、良い結果が得られました。
- ・にこにこ しにあ セミナーの修了者によるOB会（にこにこ会）を立ち上げました。

介護予防ケアマネジメント力

- ・サービスの導入にあたっては公正中立な立場から事業者の選定を行い、またインフォーマルサービスを紹介するよう努めました。
- ・居宅介護支援事業所への委託は、ケアマネジャーと同行訪問して対象者の状況把握、ケアプラン作成に当たってはご本人の身体状況の改善や自立した生活に受けた目標設定をしています。
- ・半年ごとの評価では、ケアプランの達成度をご本人やケアマネジャー、サービス事業所と確認して、次のプランにつなげご本人の能力が低下しないように努力しています。
- ・今年度の介護予防従事者研修会を4ケアプラザ協働で行いました。
- ・チェックリスト実施人数120人のうち、該当者は48人、うち1人訪問指導事業、8人介護予防ケアマネジメントを実施しました。体力向上プログラム「にこにこ しにあ セミナー」OB会、「にこにこ会」にケアマネジメント実施者7名参加。
- ・OB会「にこにこ会」では、脳トレを中心とした活動を行っています。メンバーは80才代後半の方が多いため、ボランティア（1名）中心に代表、副代表、会計もメンバーが担当しそれぞれが担えるよう工夫しています。また、保健福祉活動を「にこにこ会」としてデイサービスのボランティアを行ったり、要支援の方を講師とする手芸教室を開催するなど活動を広げています。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・地域の町内会館に出向き、地域住民に対し保健・医療・福祉分野の専門家を招き「やけどの予防」「難聴と補聴器の知識」「介護保険制度について」「健康増進について」「後見人制度について」「認知症サポーター養成講座」等の出前講座を行いました。
- ・地域活動交流、地域包括三職種協働により顔の見える関係作り・健康増進をめざし「浜松町公園」において週1回ラジオ体操を行いました。
- ・第3地区の民生委員・児童委員協議会に出向き「介護保険制度の改正について」「インフォーマルサービスについて」「市民後見について」「介護予防について」「事例検討会」を行いました。第4地区においても宮崎地域ケアプラザと協働で2か月に1回「学習交流会」に参加しました。
- ・地域活動交流と地域包括と協働で「支えあい勉強会」において地域の民生委員とケアマネジャーの情報交換を兼ねて「防災・減災」について意見交換をしました。
- ・西区社会福祉協議会の高齢者福祉分科会に参加し「西区高齢者おたすけマップ」を作成しました。

医療・介護の連携推進支援

- ・日常的に医療機関から患者様の退院支援について相談を受け、包括三職種は病院や自宅に訪問して、対象者の身体状況や介護者、住環境等を把握し、ケアマネジャーやサービス事業者につなげるよう調整を行いました。
- ・地域の医療機関、関係機関を対象に「地域ケア会議」の開催し、地域の各々の感じている課題について話し合い、お互いの役割や連携について周知しました。
- ・西区医師会、区役所、社会福祉協議会、ケアマネ研究会の代表者と協働で「認知症のひとと家族を見守る他職種ミーティング」を開催し連携を深めました。
- ・区役所と協働により介護と医療の連携推進のための研修に八森先生を迎え行いました。
- ・西区医師会との協働で医療機関（診療所の医師）とケアマネジャーの情報交換会を開催しました。

ケアマネジャー支援

- ・ケアマネジャー同士の連携支援及びスキルアップを目的に「ケアマネサロン」を開催しました。内容は「介護保険の制度改正のポイント」「リハビリ、高次脳機能障害について」「メンタルヘルス」「制度改正のポイント・パート2」「高齢者虐待防止と権利擁護」「認知症について」「訪問リハ」を行いました。「高齢者虐待防止と権利擁護」の事例検討会は、区役所と協働で行い相談しやすい体制を築きました。
- ・経験の浅いケアマネジャーを対象に概ね月に1回ミニ勉強会を行いました。今年度は参加者の希望によりケアプラン作成に関する内容で行いました。
- ・区役所介護保険課の協力をいただき、4月から変更になった介護保険の事務手続きの変更点についてケアマネジャーを対象に「事務説明会」を行いました。
- ・ケアマネジャーからの声掛けによる担当者会議に出席し、支援困難事例、緊急対応時の支援体制を構築しました。
- ・ケアマネジャーからの相談を受け、必要時には関係機関とカンファレンスを行い、情報を共有しケアマネジャーの負担感を軽減するよう努めました。
- ・新任ケアマネジャーに対する研修を行いました。

介護予防事業

介護予防事業

- ・ケアプラザの広報誌や地域交流事業の講座、地域での出前講座で介護予防の取り組みについて紹介しました。
- ・介護予防支援事業に取り組み、「にこにこ しにあ セミナー」を2コース実施しました。毎回参加確認の電話連絡をするなど工夫しました。
- ・「にこにこ しにあ セミナー」を終了した方を中心にOB会を立ち上げました。
- ・地域の町内会館や集まりに出向き、チェックリストを行い、心身の機能が低下している高齢者を早期に把握し、自立した生活の実現を目指しています。(24年度チェックリスト総数 120人)
- ・地域のお住まいの高齢者ができるだけ要介護状態にならないよう、出前講座を行ったり、ケアプラザの事業に参加された方に個別性を配慮し様々な事業を勧めました。

その他

平成24年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名: 藤棚地域ケアプラザ

平成24年4月1日～平成25年3月31日
(単位: 千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援			
収入	指定管理料収入	20,037	23,378	2,341				
	介護保険収入				6,219	18,018	96,622	12,673
	その他							
	補助金収入	70						
	認定調査					293		
	その他	307	1			32	4,560	
	収入合計(A)	20,414	23,379	2,341	6,219	18,343	101,182	12,673
支出	人件費	12,271	23,479	1,834	2,472	15,893		64,188
	事務費	3,012	1,677	507		1,326		14,958
	事業費							
	管理費	5,576	1,320			8		8,466
	その他							
	施設使用料相当額							2,750
	居介支委託分				2,609			
他会計区分繰入							22,818	
	支出合計(B)	20,859	26,476	2,341	5,081	17,227		113,180
	収支(A) - (B)	-445	-3,097	0	1,138	1,116		675

介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

平成24年度 自主事業報告書

横浜市藤棚地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
はっらっクラブ	毎月の体操に加え奇数月には、参加者が考えたコースをウォーキングしました。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第2・4金曜日 全19回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
作味会	男性料理教室の会。仲間づくりと居場所支援を行いました。	毎月第2木曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みつわの会	ボランティアによる配食サービス。75歳以上の高齢者を対象に手作りのお弁当を配達しながら安否確認を行いました。	毎月第2・4火曜日 全24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
障がい児放課後支援「とんぼ」	障がいのある中学生を対象とした放課後の居場所支援。毎月違う内容のレクリエーションを実施。バスで外出も行いました。	毎月第2・4火曜日 全22回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子ども絵手紙教室	子どもたちが、思い思いの絵をのびやかに描いていました。	毎月第2土曜日 全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで唄おう！	アコーディオンの伴奏に合わせてみんなで唄う会です。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第2土曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやか体操クラブ	転倒骨折・閉じこもり予防・仲間づくりの体操教室を行いました。	毎月第2・4日曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ピーナッツクラブ	親子支援。毎月違う内容の事業を行い沢山の親子の方に楽しんでいただきました。保育所子育てひろば私立常設園「あそびの杜保育園」の協力で開催しました。	毎月第3木曜日（8月は、不定期） 全14回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
一の会	書道教室の会です。心を静め書に向かいます。閉じこもり予防・仲間づくりのお手伝いをしました。	毎月第4月曜日 全12回

平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
情報アドバイザー「eネットにし探検隊」	毎週水曜日にボランティアの方たちがパソコン操作の解らないところをアドバイスして下さいました。	毎週水曜日 全47回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
山のうえサロン	山のうえの町内会館に出向き、体操・情報提供・情報交換を行いました。	毎月第2木曜日 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
実	ボランティアルームを開放し誰もが集える憩いの場として行いました。障がい者就労支援センターの手作りパンを食べながら楽しく過ごしました。	毎月第4金曜日 全12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
15周年記念祭	地区センターとケアプラザが開館15周年を迎え地域に感謝するとともに、地区センターとケアプラザを知ってもらえる様にお祭りを開催しました。	5月27日(日) 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性介護者の集い	西区介護者の集い「あけぼの会」の協力を得ながら男性介護者を対象に悩みや相談を伺いました。	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚ネットワーク	今年度は、防災・減災について地域の方と勉強会を行いました。	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
シルバーサロン「ほのぼの」	地域の方に福祉に関わる社会資源等を知ってもらえる様に情報発信の場として行いました。	全5回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
くるみ	認知症のある高齢者が読み聞かせのボランティアとして保育園の園児に絵本を読み聞かせ、異世代交流を行いました。	全17回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そろばんばちばち	そろばんを使うことで指先の運動、脳の活性化を図りました。仲間づくりのお手伝いを行いました。	毎月第1・3・4木曜日 全19回

平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚コンサート	女性1名男性4名のコーラスグループの方が地域の方たちと一緒に唄い素敵な歌を披露して下さいました。	全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
施設見学に行こう！	小学生を対象に地域内の9福祉施設を歩いてまわり、施設の活動を見学し学びました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
夏の余暇活動	学校や家庭以外の方と夏休みに楽しく過ごしてもらえる様に今年度は、バーベキューを行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域包括ケア会議	地域の医療機関・福祉関係者・行政・地域の有識者を招き、ケアプラザの担当地域の課題について話し合いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
パパ向け救急法	未就園児をもつパパを対象に心臓マッサージ・AEDの使い方の基礎を学んでいただきました。	全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
声を出して元気になる！	腹式呼吸と発声練習・話し方を学び健康でいきいきと過ごせる様に行いました。	全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Xmas オーナメント	プリザーブドフラワーでクリスマス飾りをつくりました。若い方から年配の方々の幅広い層で和気あいあいと楽しく行いました。ケアプラザに足を運んだことのない方が多く、ケアプラザを知っていただけました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉フェスタ	担当地域内の8福祉施設と合同で、地域の方たちに施設を知ってもらえる様にお祭りを開催しました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなで体操	町内会の公園に向き、顔の見える関係づくり・情報提供場としてラジオ体操を行い体力づくりにも努めました。	毎週土曜日 全23回

平成24年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
貸室懇談会	貸室登録団体に使い方・避難経路について確認し、登録団体同士が交流できる様に行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
デコパージュ 石けん	誰もが参加でき、作りやすい物をツールとしてケアプラザを知ってもらえる様に開催をしました。家にある石けんに紙ナフキンを専用ののりにつけ家の飾り物として作りました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚交流会	日頃ケアプラザに関わってくれているボランティアや講師に感謝するとともに、ボランティアや講師同士が交流し活動が活発になる様に行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
餅つきだヨ！ 全員集合	障がいのある人たちの余暇支援（餅つき・お正月ゲーム）を区内の施設の方たちと行いました。	全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
西区 サブコーディネーター 研修	西区内のケアプラザ従事者（サブコーディネーター）のスキルアップを目指し研修を行いました。	年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室	障がいのある方と地域の方が一緒になり、絵を書く会を行いました。	毎月第3木曜日 全3回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
にこにこ会	・地域高齢者の外出場所となる。 ・介護予防啓発事業として、体操・うた・朗読・計算ドリルなどおこない、心身共に活性化を図り、高齢による機能低下を防ぐ。	第1・第3火曜日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
藤棚ハイツ 体操クラブ 立上げ支援	・藤棚地域ケアプラザを含む、藤棚2丁目自治体の高齢者の活性化を図る。 ・体操教室で健康増進を図るとともに、世話係やチームリーダーを任せることにより、個人の役割をもてることができ、生きがいのある生活を送ることができる。	毎週金曜日

平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象 延べ参加人数 一人当たり参加費	自主事業決算額					
		総経費	収入		支出		
			指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
はつらつクラブ	地域住民	44,023	14,023	30,000	44,023	0	0
	242人						
	月200円						
作味会	地域の男性	0	0	0	0	0	0
	68人						
	実費						
みつわの会	独り暮らし高齢者	0	0	0	0	0	0
	270人						
	実費						
障がい児放課後支援「とんぼ」	中学生	178,742	133,142	45,600	5,555	43,277	129,910
	5人						
	月200円						
子ども絵手紙教室	小学生	1,050	1,050	0	0	1,050	0
	57人						
	なし						
みんなで唄おう	地域住民	43,419	9,719	33,700	42,024	1,395	0
	348人						
	月100円						
さわやか体操クラブ	地域住民	96,056	43,256	52,800	96,056	0	0
	398人						
	月200円						
ピーナツクラブ	未就園児の親子	20,298	20,298	0	16,137	4,161	0
	286人						
	なし						
一の会	地域住民	42,024	22,424	19,600	42,024	0	0
	89人						
	月200円						
情報アドバイザー 「eネットにし探検隊」	地域住民	4,956	4,956	0	0	4,956	0
	703人						
	なし						
山のうえサロン	地域住民	30,044	25,244	4,800	11,116	928	18,000
	64人						
	月200円						
実	地域住民	1,390	1,190	200	0	1,390	0
	91人						
	実費						

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。

平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象	自主事業決算額					
	延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
15周年記念祭	地域住民	211,602	201,702	9,900	16,111	78,073	117,418
	1,600人						
	実費						
男性介護者の集い	西区内の男性	1,210	1,210	0	0	1,210	0
	17人						
	なし						
藤棚ネットワーク	地域住民	22,742	22,742	0	0	10,892	11,850
	81人						
	なし						
シルバーサロン「ほのぼの」	地域住民	15,000	15,000	0	15,000	0	0
	59人						
	なし						
くるみ	認知症高齢者	3,612	3,612	0	0	0	3,612
	394人						
	なし						
そろばんばちばち	地域住民	14,000	14,000	0	0	14,000	0
	129人						
	なし						
藤棚コンサート	地域住民	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	31人						
	なし						
施設見学に行こう！	小学生	8,850	8,850	0	0	8,850	0
	12人						
	なし						
夏の余暇活動	中・高校生	22,993	19,493	3,500	0	18,433	4,560
	16人						
	500円						
地域包括ケア会議	関係機関	6,264	6,264	0	0	6,264	0
	22人						
	なし						
パパ向け救急法講座	未就園児の親子	0	0	0	0	0	0
	25人						
	なし						
声を出して元気になろう！	地域住民	10,000	10,000	0	10,000	0	0
	15人						
	なし						

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。

平成24年度 自主事業収支報告書

事業名	主な対象	自主事業決算額					
	延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
Xmasオーナメント	地域住民	25,555	55,555	20,000	55,555	20,000	0
	10人						
	2,000円						
福祉フェスタ	地域住民	2,000	2,000	0	0	0	2,000
	368人						
	実費						
みんなで体操	地域住民	12,644	12,644	0	0	0	12,644
	192人						
	月200円						
貸室懇談会	貸室登録団体	9,932	9,932	0	0	0	9,932
	43人						
	なし						
デコパージュ石けん	地域住民	2,545	545	2,000	0	2,545	0
	10人						
	200円						
藤棚交流会	ボランティア	28,872	28,872	0	5,568	0	23,034
	31人						
	なし						
餅つきだヨ！全員集合	障がいのある方	6,603	6,603	0	0	0	6,603
	70人						
	なし						
西区サブコーディネーター研修	サブコーディネーター	0	0	0	0	0	0
	32人						
	なし						
絵手紙教室	地域住民	0	0	0	0	0	0
	22人						
	なし						
にこにこ会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	125人						
	なし						
藤棚ハイツ体操クラブ立上げ支援	藤棚町住民	0	0	0	0	0	0
	12人						
	なし						

事業ごとに報告書単表に内容を記載してください。